

◎昭和46年度第10回理事会議事録(47.3.24)出席者:高野会長,石川,奥村,篠原の各副会長,下村専務理事,足立,荒木,岩垣,小山内,尾崎,後藤(尚),後藤(明),難波,三浦,村田の各理事。議事録署名理事の決定:高野会長,奥村副会長,下村専務理事。A.報告事項:1)会計報告;下村専務理事から概略説明があり了承。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他報告;下村専務理事から概略説明があり了承。4)会務担当(合同)理事会報告;下村専務理事から,昭和47年3月10日(金)開催の会務担当(総務,企画,経理,編集出版,調査研究)合同理事会の議事概要および審議経過については,本理事会の議事(1および2)と重複するため,議事審議の際に報告したいと発言があり,これを了承。5)役員候補者選考委員会報告;下村専務理事から,昭和47年3月13日(月)開催の役員候補者選考委員会における昭和47年度役員候補者推薦の審議経過について,資料により報告があり,これを了承。B.協議事項:1)昭和47年度事業計画案について;事務局より原案を朗読した後,種々論議された結果,異議なく決定し,第1回定例評議員会に提出して,その承認を求めることになった。2)昭和47年度予算案について;下村専務理事から概略説明があり,次いで事務局より詳細説明を行なった後,種々論議された結果,異議なく決定し,第1回定例評議員会に提出して,その承認を求めることになった。3)その他:①第2回定例評議員会の開催について;下村専務理事から,昭和46年度事業報告および決算報告について第58回通常総会(昭和47年5月29日開催)において承認を求めするために,第2回定例評議員会を昭和47年5月18日(木)に開催したい旨の提案があり,異議なく決定。なお,理事会からの出席者は,会長,副会長(在京),経理担当理事と決定。②会員入退会について;下村専務理事から説明があり,異議なく承認。なお,同理事から,現在までに会費滞納などのために学会誌の送本停止などの措置をしている会員については,事実上退会しているものとみなし,昭和47年3月31日をもって整理することとしたい旨の提案があり,これを了承。③次の理事

会について。

#### ◎各種委員会

(1) 海岸工学編集小委員会(47.2.14)出席者:堀川委員長,ほか7名。議事:Coastal Engineering in Japan, Vol. 14の編集作業について。

(2) 行事企画委員会全国大会小委員会(47.2.14)出席者:森委員長,嶋副委員長,ほか8名。議事:全国大会のあり方について。

(3) 行事企画委員会(47.2.14)出席者:森委員長,嶋副委員長,ほか13名。議事:1)全国大会小委員会について。2)47年度夏期講習会について。

(4) 海洋構造物に関する調査研究委員会第1分科会(第3回)(47.2.14)出席者:堀川主査,ほか9名。議事:海洋鋼構造物設計指針(案)について。

(5) 海洋構造物に関する調査研究委員会第2分科会(第3回)(47.2.14)出席者:村上委員長,吉田主査,ほか3名。議事:海洋鋼構造物設計指針(案)について。

(6) 海洋構造物に関する調査研究委員会第3分科会(第3回)(47.2.14)出席者:村上委員長,ほか8名。議事:海洋鋼構造物設計指針(案)について。

(7) 海洋開発委員会幹事会(47.2.14)出席者:本間委員長,ほか6名。議事:第3回海洋開発シンポジウム開催について。

(8) 視聴覚教育委員会打合せ(47.2.14)出席者:関係者3名。議事:小委員会できりまとめ中の研究成果の発表方法につき打合せを行なった。

(9) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ(第8回)(47.2.15)出席者:久保委員長,伯野主査,ほか12名。議事:1)近地震震の調査データのとりまとめ。2)昭和46年度報告書(案)について。

(10) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第2グループ打合せ(第5回)(47.2.15)出席者:久保委員長,後藤主査,ほか20名。議事:1)1/20多柱基礎構造模型実験/吉田委員,多田(浩)委員。2)筑波振動台によるケーソン,多柱基礎実験/沢田委員,岩崎委員。3)昭和46年度報告書(案)について。

(11) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第3グループ打合せ(第5回)(47.2.15)出席者:久保委員長,ほか14名。議事:昭和46年度報告書(案)の検討。

(12) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第10回)(47.2.

16)出席者:関係者8名。議事:塗装仕様の検討。

(13) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第6回委員会(47.2.16)出席者:大久保委員長,ほか17名。議事:1)耐風実験橋について。2)耐風設計指針について。3)昭和46年度報告書について。

(14) 昭和46年度論文賞選考委員会第1回主査幹事会(47.2.16)出席者:小西委員長,前田副委員長,田島,嶋,丸安の各主査,ほか3名。議事:1)経過報告。2)推薦(応募)候補論文の資格検討。3)候補論文の専門別仕分け。4)審査員の決定。5)審査方法。6)次回主査幹事会および第2回委員会日程。

(15) 論文集編集委員会第1小委員会(47.2.16)出席者:伊藤主査,ほか12名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)その他。

(16) 海外活動委員会幹事会(47.2.16)出席者:太田尾委員長,水野委員,赤木幹事長,ほか5名。議事:1)前回幹事会報告。2)Civil Engineering in Japan, 1972について。

(17) 海岸工学委員会幹事会(47.2.17)出席者:岩垣委員長,堀川幹事長,ほか8名。議事:1)前回議事録の確認。2)Coastal Engineering in Japan, Vol. 14について。3)第8回水工学に関する夏期研修会Bコースについて。4)第19回海洋工学講演会開催について。5)その他。

(18) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第18回)(47.2.17)出席者:関係者8名。議事:地質調査に関する解説書の原稿の検討。

(19) 水理委員会幹事会(47.2.17)出席者:吉川委員長,ほか8名。議事:1)前回議事録の確認。2)水理公式集46年度改訂版および改訂に伴う講習会の件。3)第8回水工学夏期研修会開催計画。4)水理委員会密度流研究小委員会について。5)その他。

(20) 水理委員会密度流研究小委員会設置に関する打合せ(47.2.17)出席者:関係者9名。議事:密度流研究小委員会設置に関する打合せ。

(21) 論文集編集委員会第5小委員会(47.2.17)出席者:岩間主査,ほか5名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)新規受付原稿。4)主査幹事会報告。5)その他。

(22) 論文集編集委員会第3小委員会(47.2.18)出席者:関係者4名。議事:1)前回小委員会報告。2)査読報告。3)

新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(23) 論文集編集委員会第4小委員会(47.2.18) 出席者: 新谷主査, ほか5名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(24) 水理委員会(47.2.18) 出席者: 吉川委員長, 安芸, 石原, 伊藤の各顧問, ほか35名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 水理公式集46年度改訂版および改訂に伴う講習会の件。3) 第8回水工学夏期研修会開催計画。4) 水理委員会密度流研究小委員会設置について。5) その他。

(25) 耐震工学委員会打合せ(47.2.21) 出席者: 岡本委員長, 久保副委員長, ほか5名。議事: サンプルナンド地震に関する懇談を行なった。

(26) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第5回)(47.2.21) 出席者: 関係者13名。議事: 耐風実験橋について。

(27) 耐震工学委員会第6回常任委員会(研究会)(47.2.21) 出席者: 岡本委員長, 久保副委員長, ほか20名。議事: 1) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会について。2) IAEEについて。3) サンプルナンド地震研究発表会(米国にて開催)について。4) 研究会; ①米国における地震工学の概況/建設省 岩崎敏男氏, ②大貯水池と地震/埼玉大学 岡本舜三氏。

(28) 原子力土木委員会コンクリート部会(47.2.22) 出席者: 関係者5名。議事: P C原子炉構造物設計施工指針内容検討。

(29) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会疲労分科会(第4回)(47.2.22) 出席者: 関係者8名。議事: 大型疲労試験機仕様書(案)の検討。

(30) 青函トンネル土工研究委員会打合せ(47.2.22) 出席者: 関係者4名。議事: 青函トンネルにおける測定坑の計画。

(31) 岩盤力学委員会打合せ(47.2.22) 出席者: 関係者6名。議事: 第7回岩盤力学シンポジウムパネル討論Ⅱの運営方法その他について。

(32) 原子力土木委員会立地部会沖合立地分科会(47.2.23) 出席者: 関係者5名。議事: 1) 人工島築造の観点からTID-22320 要約。2) 原子力発電, 脱塩二重目的沖合プラントの可能性。3) 耐震性のある浮上型原子力発電所。

(33) 鋼構造委員会(47.2.23) 出席

者: 友永委員長, ほか16名。議事: 1) 今後の運営について(小委員会の設置)。2) その他。

(34) 岩盤力学委員会打合せ(47.2.24) 出席者: 関係者3名。議事: 1) 第7回岩盤力学シンポジウムパネル討論Ⅰの運営方法その他について。

(35) 論文集編集委員会第2小委員会(47.2.24) 出席者: 関係者6名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(36) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会特別幹事会(47.2.24) 出席者: 関係者7名。議事: 1) 各章の改訂原案の検討。2) 今後の作業予定について。

(37) 論文集編集委員会主査幹事会(47.2.24) 出席者: 前田委員長, 伊藤, 岩間の両主査, ほか5名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集201号掲載論文について。4) 著者負担金について。5) 別冊について。6) 欧文論文集の問題点について。7) 委員の交代について。8) 47年度委員会構成について。9) その他。

(38) 原子力立地部会幹事会(47.2.25) 出席者: 松井部会長, ほか5名。議事: 立地部会の今後の計画方針について。

(39) 原子力廃棄物部会(47.2.25) 出席者: 左合部会長, ほか9名。議事: 1) 温廃水利用について。2) 放射能放出値基準(案)について。3) その他。

(40) 岩盤力学委員会打合せ(47.2.25) 出席者: 関係者9名。議事: 委員会の今後の運営について。

(41) 海外工事契約仕様書研究会(47.2.25) 出席者: 横山副主査, ほか12名。議事: テキスト第8章につき検討協議した。

(42) 岩盤力学委員会第3分科会(第14回)(47.2.25) 出席者: 関係者18名。議事: 平板載荷による原位置岩盤の変形試験法の基準(案)について。

(43) 会誌・論文集編集委員会連絡会議(47.2.26) 出席者: 千秋会誌委員長, 前田論文集委員長, 久野論文集副委員長, 下村専務理事, ほか3名。議事: 1) 今までの経過報告。2) 欧文論文集の問題点について。3) その他。

(44) 行事企画委員会全国大会小委員会(47.2.28) 出席者: 森委員長, 嶋副委員長, ほか7名。議事: 全国大会のあり方について。

(45) 沈埋トンネル耐震設計研究委員

会構造分科会静的設計班打合せ(47.2.28) 出席者: 関係者6名。議事: 沈埋トンネル耐震性に関する調査研究報告書沈埋トンネルの静的耐震設計の原案とりまとめのための打合せを行なった。

(46) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会(47.2.29) 出席者: 岡本委員長, ほか13名。議事: 沈埋トンネル耐震性に関する報告書原案の審議を行なった。

(47) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第2回幹事会(47.2.29) 出席者: 関係者12名。議事: 坑土圧構造物の原案の審議; 第1章 坑土圧構造物一般, 第2章 土構擁壁, 第3章 地中構造物。

(48) 学会誌編集委員会(47.2.29) 出席者: 千秋委員長, 服部幹事長, ほか19名。議事: 1) 経過報告。2) 学会誌57巻6号編集協議。3) その他。

(49) 国鉄 RC 標準解説打合せ(47.3.1) 出席者: 河野主査, ほか11名。議事: 1) 打合せ開催の経緯。2) 国鉄 RC 標準解説の説明。

(50) 昭和46年度表彰委員会第1回主査幹事会(47.3.1) 出席者: 奥村功績賞主査, 三浦技術賞主査, ほか4名。議事: 1) 第1回表彰委員会議事録の確認。2) 功績賞について。2) 技術賞について。4) 第2回主査幹事会および第2回委員会開催について。

(51) 構造工学委員会耐風設計研究小委員会(47.3.1) 出席者: 平井委員長, ほか11名。議事: 1) 耐風構造国際会議について。2) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会について。3) 相似則分科会について。4) 文献紹介。5) 委員会の運営について。6) その他。

(52) 文献調査委員会(47.3.2) 出席者: 小林委員長, ほか6名。議事: 1) 会誌57巻5号登載抄録について。2) 解説記事について。3) その他。

(53) 昭和46年度田中賞選考委員会第1回幹事会(47.3.2) 出席者: 関係者4名。議事: 1) 第1回委員会議事録の確認。2) 候補の調整。3) グループ分け。4) 予選の方法。5) 予選の締切日。6) 第2回委員会開催日。

(54) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第7回委員会(47.3.4) 出席者: 大久保委員長, ほか15名。議事: 1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。

(55) 昭和46年度吉田賞選考委員会第1回幹事会(47.3.4) 出席者: 園分副委員長, 岩間幹事長, ほか3名。議事:

1) 第1回古田賞選考委員会議事録の確認。2) 候補の調整。3) 審査担当委員の選定。4) 審査報告締切日の決定。5) 第2回委員会開催日。6) 奨励金小委員会の設置。

(56) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会一般事項分科会(第1回)(47.3.6) 出席者: 関係者9名。議事: 一般事項に関する検討。

(57) 岩盤力学委員会運営委員会(47.3.6) 出席者: 岡本委員長, ほか7名。議事: 1) 各分科会活動報告。2) 土木技術者のための岩盤力学(出版物)の改訂について。3) 次期岩盤力学委員会の運営構成について。

(58) 原子力土木委員会耐震部会合同分科会(47.3.6) 出席者: 関係者7名。議事: 地震波の重複反射計算条件について。

(59) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班幹事会(47.3.7) 出席者: 関係者3名。議事: ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針および実例集のとりまとめ。

(60) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会(第3回)(47.3.7) 出席者: 関係者14名。議事: 鋼構造に関する検討。

(61) 原子力土木委員会立地部会(47.3.7) 出席者: 松井部会長, ほか17名。議事: 1) 各分科会の報告; 立地一般分科会・沿岸立地分科会・沖合立地分科会・地下立地分科会。2) 昭和47年度研究計画の審議。

(62) 原子力土木委員会耐震部会(47.3.7) 出席者: 岡本部会長, ほか16名。議事: 1) PCPVの震動実験について。2) 鹿島地点の実測波形スペクトル。3) 断層と立地。4) 埋設管, 沈埋トンネル委員会について概要報告。5) 原子炉建屋基礎の耐震設計スペクトル法による応答に対する評価。6) 動的応答計算の進め方。

(63) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会基礎土構造分科会(第3回)(47.3.8) 出席者: 関係者12名。議事: 基礎土構造に関する検討。

(64) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会(第4回)(47.3.8) 出席者: 関係者14名。議事: トンネルに関する検討。

(65) 図書館運営小委員会(47.3.8) 出席者: 園田委員長, ほか2名。議事: 1) Standard Manual 類の収集について。2) 国際会議 Proceeding の収集について。

(66) プレストレストコンクリート杭

設計施工指針小委員会主査幹事会(47.3.9) 出席者: 関係者7名。議事: 各編の調整について。

(67) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第19回)(47.3.9) 出席者: 関係者5名。議事: 1) 地質調査に関する解説書原稿の検討。2) 今後のとりまとめ方法について。

(68) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第6回)(47.3.9) 出席者: 関係者14名。議事: 耐風実験橋について。

(69) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第11回)(47.3.10) 出席者: 関係者8名。議事: 1) 前回議事録の承認と修正。2) 塗装方法の決定。3) 構造部分別の塗装系の詰め方について。

(70) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会幹事会(47.3.10) 出席者: 関係者6名。議事: 委員会提出資料の検討。

(71) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会主査幹事会(47.3.10) 出席者: 関係者10名。議事: 沈埋トンネル耐震性に関する研究報告書原案のとりまとめを行った。

## ◎その他

(1) 水理公式集改訂に伴う講習会(東京会場)(47.2.9~10)

場所: 千代田会堂

講演数: 18題

参加者数: 345名

(2) 水理公式集改訂に伴う講習会(京都会場)(47.2.21~22)

場所: 京都産業会館シルクホール

講演数: 18題

参加者数: 341名

(3) 第16回水理講演会(47.2.18~

19)

場所: 発明会館ホール

講演数: 25題

参加者数: 250名

(4) 第7回岩盤力学に関するシンポジウム(47.2.24~25)

場所: 土木図書館講堂

参加者: 約190名

講演数: 一般講演18題, 特別講演1題, パネル討論2題

## 支 部 だ よ り

### ◎東北支部

(1) 昭和47年度支部役員選考打合

会(47.4.5, 三越食堂別室) 出席者: 浅間幹事長, ほか6名。議題: 47年度東北支部役員人事の選考について。

### ◎関東支部

(1) 「最近のコンクリートの話題」講習会(46.11.25)

会場: 土木図書館講堂

参加者: 161名

テキスト: B5判・68頁

定価1000円(千共)

(2) 「最近の杭の話題」講習会(47.2.16)

会場: 土木図書館講堂

参加者: 223名

テキスト: B5判・50頁

定価900円(千共)

(3) 映画会

1) 46.10.27 宇都宮市 参加者140名 くっさく外1編

2) 46.11.22 土木図書館 参加者40名 相模川総合開発外1編

3) 47.2.15 前橋市 参加者350名 松原下釜ダム建設記録外2編

(4) 「神奈川県内広域水道企業」見学会(46.12.9)

見学先: 伊勢原市・厚木市

参加者: 52名

### ◎関西支部

(1) 中堅土木技術者を対象とする懇話会(第2回)

長スパン橋梁建設に関する懇話会

(第2回) 下部工施工上の問題について(47.2.15, 大阪科学技術センター)

問題点提起者:

阪神高速道路公園南港工事事務所長 松橋 敦保

阪神高速道路公園南港工事事務所副所長 松村 駿一郎

司会:

京都大学教授工学部工博 松尾 新一郎

阪神高速道路公園南港連絡橋建設部次長 松本 忠夫

参加者: 53名

ひきつづき懇親パーティ 参加者21名  
(2) 山陽新幹線試乗(追加)見学会(47.2.28)

共催: 土木学会関西支部・土質工学会関西支部

見学先: 国鉄山陽新幹線試乗(新神戸-岡山)

参加者: 96名

(3) 「耐震設計と土質工学の問題点」講習会(47.2.16~17, 大阪科学技術センター)

主催: 土質工学会関西支部

協 賛：土木学会関西支部 日本建築学会近畿支部

題 目：9題

映 画：2題

参加者：245名

(4) 第3回商議員会(47.3.8, 好文倶楽部)出席者：岩垣, 後藤理事, 田中支部長, ほか40名(うち委任状6名)

(5) 第7回幹事会(47.3.8, 好文倶楽部)出席者：後藤幹事長, ほか16名。

(6) 財政に関する打合せ(第2回)(47.3.8, 好文倶楽部)出席者：関係者7名。

(7) 役員候補者選考委員会委員打合せ(47.2.16, 好文倶楽部)出席者：関係者4名。

(8) 商議員文替

(旧) 鈴木秀輔商議員 千葉県道路公社工務部長に転出

(新) 渡辺恭平 滋賀県土木部道路課長に後任商議員を委嘱

(旧) 野間口親弘商議員 (株)間組高松支店長代理に転出

(新) 木畑稔裕氏 (株)間組大阪支店土木部次長に後任商議員を委嘱

## 編集後記

●——川原睦人・記

某幹事談 「アメリカ合衆国の土木学会(ASCE)は、シビルエンジニアの集り、すなわち建設コンサルタント技術者の学会である。しかるに、日本の土木学会は、官庁・学校関係の勢力が強く、建設コンサルタント関係者の活躍が少ない」

某委員談 「日本の建設コンサルタントは、建設コンサルタントとは名ばかりで、手とり足とり教えなければ、あぶなっかしくて使えたもの

ではない」

某委員談 「日本では、技術を高く評価しない。また、日本の建設コンサルタントは歴史が浅く、資本に余裕がない。この様子では、技術力を向上させる方法がない」

今月号は、建設コンサルタントの特集号となりました。わが国の産業は、第二次産業を中心とする重工業型から、情報産業を中心とする知識集約型へと移行しつつあります。このときにあたりまして、建設面でのソフトウェアの中核となるべき建設

コンサルタント産業は、他方面の明るさと比較するとき、現実の面で多くの問題があるようです。

今月号はコンサルタントのかかえている問題点について、発注者・受注者の両方から関係者のご発言を得ました。この企画により、建設コンサルタントのかかえている種々の問題点が解明されるとは毛頭考えてはおりませんが、建設コンサルタント界の前進に少しでも役立つものであるなら編者一同望外の歓びとすところであります。

## 土木学会委員会関係出版物案内

### ▶サンフェルナンド地震(1971年2月)の震害について

耐震工学委員会編

B5判 32 ページ 口絵写真4 ページ 定価 350 円(〒70 円)

### ▶第17回橋梁・構造工学研究発表会(新材料・新工法を用いた構造物における諸問題に関する研究)講演概要

45.12.5 開催, 日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁構造工学分科会・土木学会・日本建築学会共催

B5判 106 ページ, 講演 14 編 定価 1000 円(〒110 円)

### ▶第7回衛生工学研究討論会講演論文集

46.1.30~31 開催, 土木学会主催

B5判 174 ページ, 講演 16 編 定価 1500 円(〒140 円)

### ▶第15回水理講演会講演集

46.2.12~13 開催, 土木学会主催

B5判 93 ページ, 講演 14 編 定価 800 円(〒110 円)

### ▶構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム(1970)論文集

45.5.8~9 開催, 土木学会・日本建築学会・日本気象学会・電気学会・日本鋼構造協会共催

B5判 296 ページ, 講演 37 編, 定価 1500 円(〒170 円)

### ▶流体輸送に関するシンポジウム前刷

B5判 142 ページ, 講演 10 編 定価 1000 円(〒140 円)

### ▶土木技術者の海外活動別刷

B5判 54 ページ 口絵写真4 ページ 定価 100 円(〒80 円)

◎申込先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会刊行物頒布係(電 03(351)4132)